

内令第二百三十七號

南西方面海軍民政部令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「モルツカ諸島及小スンダ列島」ヲ「及小スンダ列島（フロレース島以東ヲ除ク）」ニ改

ム

附則

本令ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（内令提要卷一、三〇七三頁参照）

内令第二百三十八號

南西方面海軍民政部令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條中「セラム民政部」ヲ「小スンダ民政部」ニ、「モルツカ諸島及小スンダ列島」ヲ「小スンダ列島（フローレス島以東ヲ除ク）」ニ改ム
別表中「セラム」ヲ「小スンダ」ニ改ム

附 則

本令ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三〇ノ八一頁参照)

内令第二百三十九號

昭和十七年内令第九百六十六號南西方面海軍民政部ノ支部ヲ置ク等ノ件ハ昭和十九年一月三十一日
限リ之ヲ廢止ス

昭和十九年一月二十六日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

(内令提要卷一、三〇ノ八七頁参照)

内 令

二六九

1219

内令第二百四十號

海軍工廠ニ置ク所要ノ部中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀海軍工廠及佐世保海軍工廠ノ項中「造機部」ノ下ニ各「潜水艦部」ヲ加フ

附則

本令ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三〇ノ五頁参照)

内令第二百四十一號

海軍工廠處務規程中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十八條第二號ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ佐世保海軍工廠潜水艦部ヲ除ク

附則

本令ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(内令提要卷一、三〇ノ一頁参照)

内令第二百四十二號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅潛艇定員表其ノ二中「第五十四號」ノ下ニ「第五十八號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四一八ノ八四頁参照)

内令第二百四十三號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

内令

二七一

1221

内令

二七二

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十八驅潛艇ノ部中「第五十四號」ノ下ニ「第五十八號」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三九頁参照)

内令第二百四十四號

海軍氣象通報式中別紙ノ通改正ス

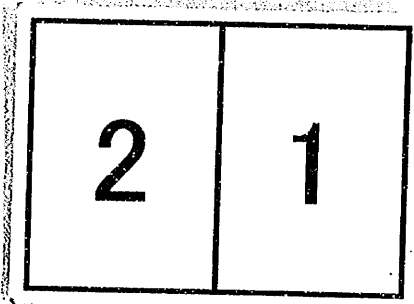
別紙ハ海軍文庫ヲシテ所要ノ向ニ配付セシム

昭和十九年一月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1222

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3版以上のため
文書等名	神池海軍航空隊(仮称) 定員表(仮定)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

(別表)

(昭和十九年内令第二百三十五號)

特設海軍建設部職員表

考 備	計	部 員										長					
		技師	主計	衛生	中少尉(機)	中少尉(水)	技師	主計	軍醫	軍醫	司政			兵科	司政	主計	少將
一 本表ノ外支部一箇所ニ付部員又ハ附トシテ司政官、技師四人以内、書記、通譯、警部、技師十人以内ヲ置ク 二 士官及文官ノ定員ハ彼此増減スルコトヲ得 三 司政官ハ他ノ奏任文官ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得 四 必要ニ應ジ兵曹、機關兵曹、主計兵曹ヲ以テ書記、技師ニ代フルコトヲ得 五 本表ノ外必要ニ應ジ附トシテ軍屬其ノ他特種ノ人員ヲ置クコトヲ得	高士官、特務士官、文官	十五	一											一		第二十四	
	二十五人	二十五	一											一		第二十五	
	三十九人	二十五	一											一		第二十六	
	四十三人	三十															
	四十三人	八十															
	判任文官	三十人	三人	二人													第二十四
	下士官	八十人	三人	二人													第二十五
	准士官	百人	五人	四人													第二十六

内令第二百四十四號ノ二

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定ム

昭和十九年一月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第九十二號驅潛特務艇

内令第二百四十四號ノ三

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第八十九號(佐)」ノ次ニ「第九十二號(佐)」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令

二七二ノ二

1226

内令第二百四十五號

自今海軍定員令ニ依ル定員及配置ニ關スル内令ハ「内令員第何號」トシ別ニ番號ヲ附シ一般内令ト區別ス

本令ハ昭和十九年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十九年一月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二七三

1227

内令第二百四十六號

伊號第三百六十八潜水艦

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト定メラル

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二百四十七號

第七十六號驅潛特務艇

右本籍ヲ鎮海警備府ト定ム

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第二百四十八號

昭和十八年内令第八百三十三號別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二七五

1228

内令

二七六

鎮海防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第七十一號（鎮）」ノ次ニ「第七十六號（鎮）」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ所屬ノ件ナリ

内令第二百四十九號

海軍定員令中左ノ通改正セララル

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

一等潜水艦定員表共ノ二ノ二中

第三百六十一、
第三百六十三、
第三百六十五、

ヲ

伊	第三百六十一、
號	第三百六十三、
	第三百六十五、
	第三百六十八

ニ改ム

(内令提要卷一、四一八ノ五九頁参照)

内令第二百五十號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特修兵配置表其ノ十六中「第三百六十五」ノ下ニ「第三百六十八」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三三頁参照)

内令第二百五十一號

佐世保鎮守府在籍

伊號第三百六十八潛水艦

右當分ノ間定員ヲ置カズ

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二七七

1230

内令第二百五十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一航空艦隊司令部

兵 曹、水 兵

十五人(特修兵適宜)

整 備 兵 曹

三人(掌整備兵
掌航空兵器兵(射爆) 一三)

衛生兵 曹、衛生兵

三人

主計兵 曹、主計兵

四人(掌經理兵
掌衣糧兵 一三)

内令第二百五十三號

當分ノ間徵備機帆船及漁船ノ乗員ニ充ツル爲左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十九年一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四艦隊司令部

兵 曹 長

九人 (横須賀鎮守府在籍者
吳鎮守府在籍者 四五)

兵 曹、水 機 兵

五百人 (特修兵適宜) (横須賀鎮守府在籍者 一八〇〇
吳鎮守府在籍者 三三〇〇)

南東方面艦隊司令部

兵 曹 長

三人 (横須賀鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者 一二)

兵 曹、水 機 兵

百二十人 (特修兵適宜) (横須賀鎮守府在籍者 四八〇〇
舞鶴鎮守府在籍者 四〇〇)

南西方面艦隊司令部

兵 曹 長

五人 (佐世保鎮守府在籍者
舞鶴鎮守府在籍者 三)

兵 曹、水 機 兵

二百八十人 (特修兵適宜) (佐世保鎮守府在籍者 一六〇〇
舞鶴鎮守府在籍者 一二〇〇)

第三南遣艦隊司令部

兵 曹 長

一人

兵 曹、水 機 兵

八十人 (特修兵適宜)

内令

二七九

1232

佐世保防備隊

兵 曹 長

五人

機關兵曹、水機
機關兵

二百人（特修兵適宜）

内令第二百五十四號

昭和十八年内令第二千三百九十五號中左ノ通改正ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「昭和十九年二月末日迄」ヲ「當分ノ間」ニ改ム

参照 前記内令ハ海上護衛總司令部ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第二百五十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

1233

軍艦迅鯨

機關兵曹、機關兵

十人（掌機兵（補機）〔高三四〕）

内令第二百五十六號

當分の間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第五百五十三號中「霞」ヲ削ル

昭和十九年一月二十九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦霞

兵 曹、水 兵 二十二名（掌砲兵〔高三四〕）

参照 昭和十八年内令第五百五十三號ハ驅逐艦浦波等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二八一

1234

内令第二百五十七號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十九年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航空本部

中少佐

技術中少佐 造兵監督官 兼務二人(第六十一海軍航空廠部員ノ兼務)

技師

内令第二百五十八號

昭和十八年内令第八百二十五號ハ之ヲ廢止シ昭和十九年一月十五日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十九年一月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

参照 前記内令ハ大井海軍航空隊(上海分遣隊及青島分遣隊ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令

二八三

1235

内令第二百五十九號

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十九年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特務艇、敷設艇測天型ノ項中「浮島、澎湖」ヲ削ル

(内令提要卷三、四二頁参照)

内令第二百六十號

大正九年内令第二百七十三號敷設艇乘員標準等ノ件中左ノ通改正ス

昭和十九年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表中「敷設艇測天、自神、巨濟、成生、浮島、由利島、怒和島乘員標準」ヲ「敷設艇測天、自神、巨濟、成生、由利島、怒和島乘員標準」ニ、「敷設艇澎湖、石埼、鷹島、濟州、新井埼、前島乘員標準」ヲ「敷設艇石埼、鷹島、濟州、新井埼、前島乘員標準」ニ改ム

内令

二八五

1236

内
命

(内令提要卷一、四六六ノ四頁参照)

二八六

1237

内令〔自第二百六十一號
至第二百六十六號〕（後送ス）

内令第二百六十七號

海軍定員令中左ノ通改正セラル

昭和十九年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

二等潜水艦定員表其ノ一中「第四十五」ノ下ニ「、第四十七」ヲ加フ
二等潜水艦定員表其ノ二中「第一百十六」ノ下ニ「、第一百十七」ヲ加フ

（内令提要卷一、四一八ノ六八頁参照）

内令第二百六十八號

特修兵教員配置規則中左ノ通改正ス

昭和十九年一月三十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

二九九

1238

内令

三〇〇

特修兵配置表共ノ十七中「第四十五」ノ下ニ「、第四十七」ヲ、「第百十六」ノ下ニ「、第百十七」ヲ加フ

(内令提要卷一、四三〇ノ三四頁参照)

1239